

筑波大学比較・理論文学会 平成18年度活動報告

◎例会（2006年5月31日/10月31日/11月1日@筑波大学人文社会学系棟 A501）

※博士号請求論文公開発表会として開催

- ・呉 聖 淑（総合文学5年次）
文学・文化・メディアが生成した〈煤煙事件〉表象

- ・竹内康史（総合文学5年次）
前期サルトルにおける〈道〉の諸相

- ・孔 月（総合文学5年次）
芥川龍之介中国題材小説研究——植民地表象に付き纏う〈病〉

- ・申 河 慶（総合文学5年次）
アポリアとしての「モダンガール」
——一九二〇—三〇年代の日本における女性、メディア、イデオロギー——

- ・徐 東 周（総合文学5年次）
移動と想像力
——中野重治・帝国・視差——

- ・宋 仁 善（総合文学5年次）
一九六〇年代後半の〈現実〉と〈架空〉
——大江健三郎の文学を中心に——

- ・王 盈 文（総合文学5年次）
初期太宰文学の〈日本帝国〉表象
——よみがえる明治の記憶とイメージの外地——

◎博士号請求論文公開発表会（2006年6月26日@筑波大学人文社会学系棟 A501）

- ・齊藤 愛（総合文学）
異貌の自画像
——初期明治文化における外国人表象——

◎博士号請求論文公開発表会（2006年12月5日@筑波大学人文社会学系棟 A501）

- ・福井崇史（総合文学5年次）
外見の修辞学：19世紀末アメリカ文学と人の「見た目」を巡る緒言説

◎修士論文公開発表会（2007年1月17日@筑波大学人文社会学系棟 B415）

- ・伊東幸恵（総合文学2年次）

児童文学と移動

—— ジャミラ・ガヴィンの作品におけるホームとアイデンティティ ——

- ・金 学 淳（総合文学2年次）

馬琴読本研究

—— 反復と連鎖による長編化構想 ——

- ・高橋理樹（総合文学2年次）

19世紀末イギリスの心霊研究と科学言説

—— *The Inheritors* における「四次元」について ——

- ・吉村知恵子（総合文学3年次）

古代ギリシアにおける予言の本質

—— パウサニアス『ギリシア誌』を素材に ——